

「札幌版次世代住宅基準」に学ぶ

DATA

設計：菊地宏子 / GLOBE ARCHITECTS
 施工：古澤建築
 所在地：長野県北佐久郡軽井沢町(2地域)
 家族構成：夫婦+犬3匹
 敷地面積：622.67㎡(188.7坪)
 延床面積：132.19㎡(40.1坪)
 1階：108.18㎡
 2階：24.01㎡
 竣工年月：2023年7月

【省エネルギー性能】
 断熱性能(UA値)：0.167W/㎡・K
 気密性能(C値)：0.09cm/㎡
 設計一次エネルギー消費量：165.6MJ/㎡・年

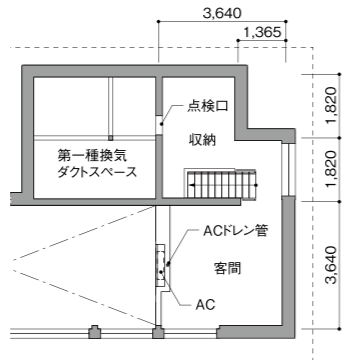
【断熱仕様】
 屋根：グラスウールブローイング450mm(充填)
 フェノールフォーム150mm(付加)
 外壁：高性能グラスウール20K120mm(充填)
 フェノールフォーム150mm(付加)
 基礎：XPS100mm(底盤下)、EPS150mm(立上り)、
 XPS100mm(基礎内側)
 開口部：木製サッシ+トリプルガラス、断熱ドア

【設備仕様】
 暖房：エアコン2.8kW+薪ストーブ(補助)
 冷房：エアコン2.5kW
 換気：第1種換気システム顕熱タイプ
 給湯：エコキュート370L
 創エネ：太陽光発電6.4kW+蓄電池7.4kW
 その他：耐震等級3(許容応力度計算)、
 パッシブハウス認定取得済



LDKと寝室の間仕切りは、愛犬の寝床と、寝室の収納と、エアコン設置の3機能を集約。天井は、その上のゲストルームまでつながる

「愛犬と暮らす家」平面図(S=1:200)



2F



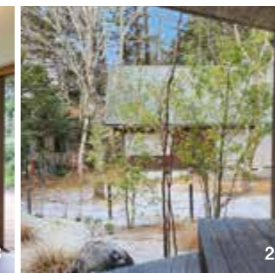
上 / 北側の隣地境界には緑が茂る
 下 / ドッグランでのびのび過ごす愛犬



1F



- 1 / 北側の屋根付きテラス。美観を損う室外機は、木格子のベンチ下に設置した
- 2 / テラスから隣家の庭を見る。敷地境界に植えた樹木が緩やかに視線を遮る
- 3 / 写真右のガラス戸がテラスに続く。キッチンからアクセスしやすいポイント



南側は大開口で
 日射取得
 北側は半戶外空間で
 豊かさをプラス

敷地は東側が道路に面する整形地で、南北の隣地には家が建っている。面積にはゆとりがあるため、建物の離隔距離は十分にとれており、日当りに大きく影響することは少ない。ただし、隣地に育つ高木が、ところどころに影を落とす。夏はそれが心地よい一方で、冬は木々の合間をぬって日射取得しなければならぬ。

そこでこの家は、建物を北側に寄せ、南側に広々とした芝生のドッグランを確保したうえで、南向きに大開口を設けている。FIXの高窓は木々の合間から差し込む日射をとらえるためである。天気の良い日は日差しがマイルドを温め、エアコンだけでも吹抜きのLDK空間は十分に温まるという。冬の日射取得を優先したぶん、軒の出は控えめ。夏は外付けブラインドで日射をコントロールしている。

一方、北側には屋根付きの半戶外空間をつくり、夏でも日差しを気にせず外の空気を楽しめる場所とした。キッチンから気軽にいられることもあり、奥様はここで朝食をとったり、ティータイムを楽しんだりしているという。「北側テラスの前には和の庭を設けています。隣家の庭からの視線をゆるやかに遮りつつ、こちらの庭を隣家の方にも楽しんでいただけるように配慮しました(菊地さん)」